

令和 2 年

火災・救急・救助統計

瀬戸市消防本部

火災

出火件数は25件で、昨年と比べ13件減少し、現在の方法で統計を取り始めた昭和46年以降で、最も火災件数の少ない年でした。

火災種別で見ますと、建物火災が11件、車両火災が4件、林野火災が2件、その他火災が8件でした。

火災による死者数は昨年に続き0人でした。また、負傷者数は7人で、火災種別で見ますと、建物火災が6人、車両火災が1人となっています。

出火件数の25件を出火原因別で見ますと、「放火・放火の疑い」が合わせて4件(16%)と最も多く、続いて「たき火」が3件(12%)、「たばこ」「ストーブ」が各2件(8%)の順となっています。

出火件数が多い連区は、品野連区が6件(24%)、效範連区3件(12%)、陶原連区、水野連区、八幡台連区、本地連区、新郷連区が各2件(8%)の順となっています。

火災の傾向としては、建物火災が大幅に減少しましたが、建物火災11件のうち住宅火災は10件とほとんどを占める結果となりました。また、その他火災も大幅に減少しました。

1 火災発生状況

全火災25件を月別にみますと、次表のとおりです。

区分 月別	出火件数						焼損 棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者(人)		
	計	建物	住宅	林野	車両	その他		建物(m ²)	林野(a)		死者	住宅	負傷者
1月	2	1	0	0	1	0	1	65	0	10,298	0	0	1
2月	2	0	0	0	1	1	0	0	0	106	0	0	0
3月	5	2	2	0	1	2	2	15	0	722	0	0	3
4月	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5月	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
6月	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	5	1	1	2	0	2	2	157	1	7,317	0	0	1
9月	1	1	1	0	0	0	1	0	0	17	0	0	0
10月	1	1	1	0	0	0	2	26	0	3,236	0	0	0
11月	2	1	1	0	1	0	4	202	0	3,030	0	0	0
12月	2	2	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
合計	25	11	10	2	4	8	15	465	1	24,727	0	0	7
令和元年	38	20	9	0	3	15	32	1,230	0	130,757	0	0	9

※その他火災とは、建物・林野・車両・船舶及び航空機の各火災種別に該当しない火災

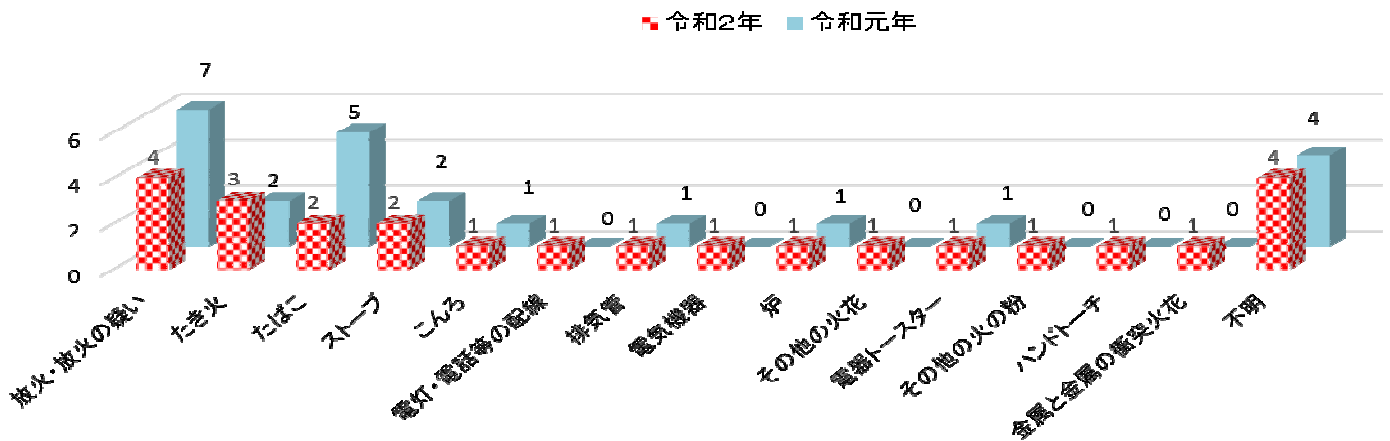
2 連区別火災発生状況

全火災 25 件を連区別にみますと、次表のとおりです。

連区別 区分	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
建 物	11	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	3	1	0	0	1	1
林 野	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
車 両	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
その他	8	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
合計	25	0	0	0	1	0	2	1	3	0	2	0	1	0	2	6	1	1	2	1	2

3 出火原因別火災発生状況

全火災 25 件を出火原因別にみますと、グラフのとおりです。



4 初期消火の実施状況

全火災 25 件を初期消火別にみますと、次表のとおりです。

区分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初期消火の種類				実施率(% (B)/(A)	令和元年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	11	7	2	0	4	1	63.6	57.1
林野火災	2	1	0	0	0	1	50.0	-
車両火災	4	3	1	0	1	1	75.0	66.7
その他火災	8	7	1	1	1	4	87.5	53.8
合 計	25	18	4	1	6	7	72.0	63.2

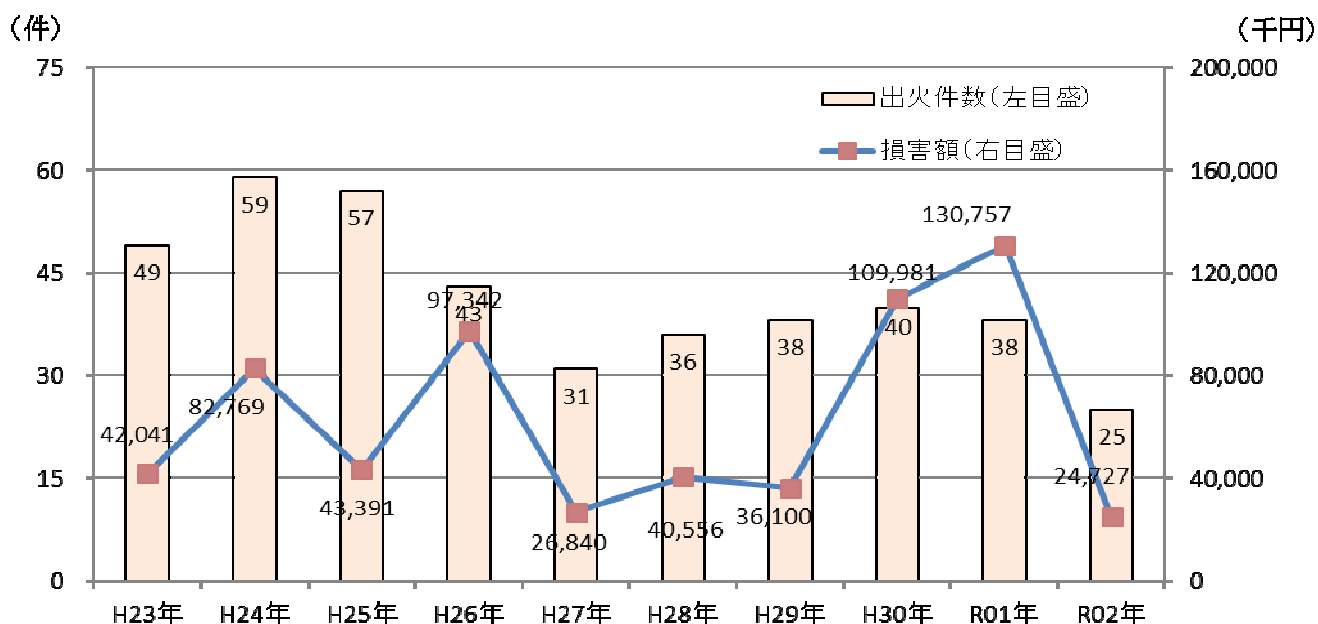
5 過去10年間の火災の推移

過去10年間の火災の状況をみますと、次表のとおりです。

区 分 年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数(人)		損 害 額 (千円)
	計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成23年	49	21	10	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19	7	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
平成30年	40	14	8	1	5	20	800	19	2	4	109,981
令和元年	38	20	9	0	3	15	1,230	0	0	9	130,757
令和2年	25	11	10	2	4	8	465	1	0	7	24,727

6 過去10年間の出火件数と損害額の推移

過去10年間の出火件数と損害額の状況をみますと、次表のとおりです。



救急

救急出動件数は4,983件で、昨年と比べ672件減少し、9年ぶりに5千件を下回りました。

救急出動件数のうち、事故種別で見ますと、急病が3,484件(69.9%)、一般負傷が803件(16.1%)、交通事故が275件(5.5%)となっており、一月平均は約415件、一日平均は約14件でした。

救急搬送人員は4,712人で、そのうち死亡、重症及び中等症を合わせた傷病者の割合は全体の42.3%、軽症の割合は57.7%でした。

年齢区分別の搬送人員で見ますと、高齢者が3,195人で全体の67.8%でした。

また、「急病」のうち高齢者の占める割合は71.3%で、「一般負傷」での割合は74.9%でした。

1 救急発生状況

全救急出動件数を月別にみますと、次表のとおりです。

区分 月別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
1月	515	1	0	0	31	2	0	77	4	1	367	30	2
2月	431	0	0	0	17	2	3	60	2	3	326	15	3
3月	400	3	0	0	15	2	1	66	0	2	284	19	8
4月	327	0	0	0	25	0	0	44	2	3	238	15	0
5月	383	0	0	0	15	4	0	54	2	3	282	17	6
6月	382	0	0	0	20	0	3	75	4	3	251	19	7
7月	400	0	0	0	32	2	1	68	0	5	272	13	7
8月	464	1	0	0	19	3	9	66	1	0	341	16	8
9月	401	0	0	0	23	5	6	61	0	3	272	26	5
10月	433	0	0	0	28	6	4	74	0	3	292	20	6
11月	401	0	0	0	28	4	1	75	0	3	259	25	6
12月	446	0	0	0	22	7	2	83	1	1	300	22	8
合計	4,983 (4,712)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	275 (265)	37 (36)	30 (27)	803 (785)	16 (14)	30 (17)	3,484 (3,327)	237 (237)	66 (0)
令和 元年	5,655 (5,335)	10 (9)	0 (0)	0 (0)	380 (368)	46 (45)	38 (38)	809 (783)	16 (14)	56 (36)	3,882 (3,718)	325 (324)	93 (0)

(件)

【備考】()内は、救急搬送人員を示す。

2 連区別救急搬送人員

全搬送人員を連区別にみますと、次表のとおりです。

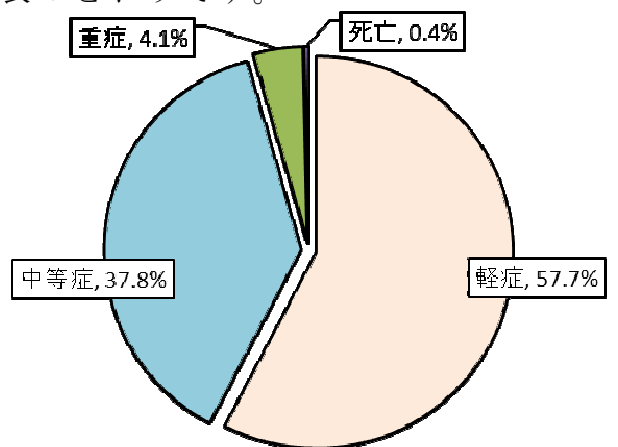
(人)

項目	急病	一般	交通	その他	計
道 泉	117	33	1	5	156
深 川	83	26	1	0	110
古瀬戸	116	31	3	2	152
東 明	75	20	5	5	105
祖母懐	82	27	1	7	117
陶 原	212	48	15	30	305
長 根	219	53	37	13	322
效 範	399	93	42	53	587
水 南	243	51	9	57	360
水 野	218	63	22	19	322
西 陵	166	41	5	13	225
原山台	162	32	2	19	215
萩山台	100	19	1	2	122
八幡台	139	30	2	1	172
品 野	121	32	12	14	179
下品野	192	38	16	8	254
山 口	184	50	28	42	304
本 地	178	38	30	7	253
菱 野	131	26	13	7	177
新 郷	184	30	18	20	252
管区外	6	4	2	11	23
合 計	3,327	785	265	335	4,712

3 傷病程度別搬送人員

全搬送人員を傷病程度別にみますと、次表のとおりです。

程 度 別	搬 送 人 員
死亡	19
重症(3週間以上入院)	191
中等症	1,783
軽症(入院なし)	2,719
合 計	4,712



4 年齢区分別搬送人員

全搬送人員を年齢区分別にみますと、次表のとおりです。

事故種別 年齢区分	急病	一般負傷	交通事故	その他	計
新生児 (構成比:%)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	18 (5.4)	19 (0.4)
乳幼児 (構成比:%)	69 (2.1)	51 (6.5)	5 (1.9)	8 (2.4)	133 (2.8)
少年 (構成比:%)	75 (2.3)	33 (4.2)	32 (12.1)	23 (6.9)	163 (3.5)
成人 (構成比:%)	809 (24.3)	113 (14.4)	161 (60.8)	119 (35.5)	1,202 (25.5)
高齢者 (構成比:%)	2,373 (71.3)	588 (74.9)	67 (25.3)	167 (49.9)	3,195 (67.8)
合計 (構成比:%)	3,327 (100.0)	785 (100.0)	265 (100.0)	335 (100.0)	4,712 (100.0)

【備考】年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 5 高齢者 満65歳以上の者

※端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

5 救命率の推移

救命率の推移は、次表のとおりです。

(%)

区 分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
瀬戸市	16.7	16.7	40.0	0	66.7
愛知県	38.2	28.2	31.8	32.6	
全 国	25.1	24.1	25.1	25.5	

【備考】救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。
 2年中の愛知県・全国の「救命率」は令和3年1月現在未発表

6 バイスタンダーCPR実施状況

バイスタンダーCPRの実施状況は、次表のとおりです。

項 目	平成28年			平成29年			平成30年			令和元年			令和2年			
	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	
目撃	あり	44	28	63.6	51	22	43.1	57	31	54.4	55	28	50.9	59	28	47.5
	なし	78	51	65.4	85	59	69.4	69	48	69.6	86	47	54.7	51	32	62.7
合計	122	79	64.8	136	81	59.6	126	79	62.7	141	75	53.2	110	60	54.5	

【備考】バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

7 救急出動件数の推移

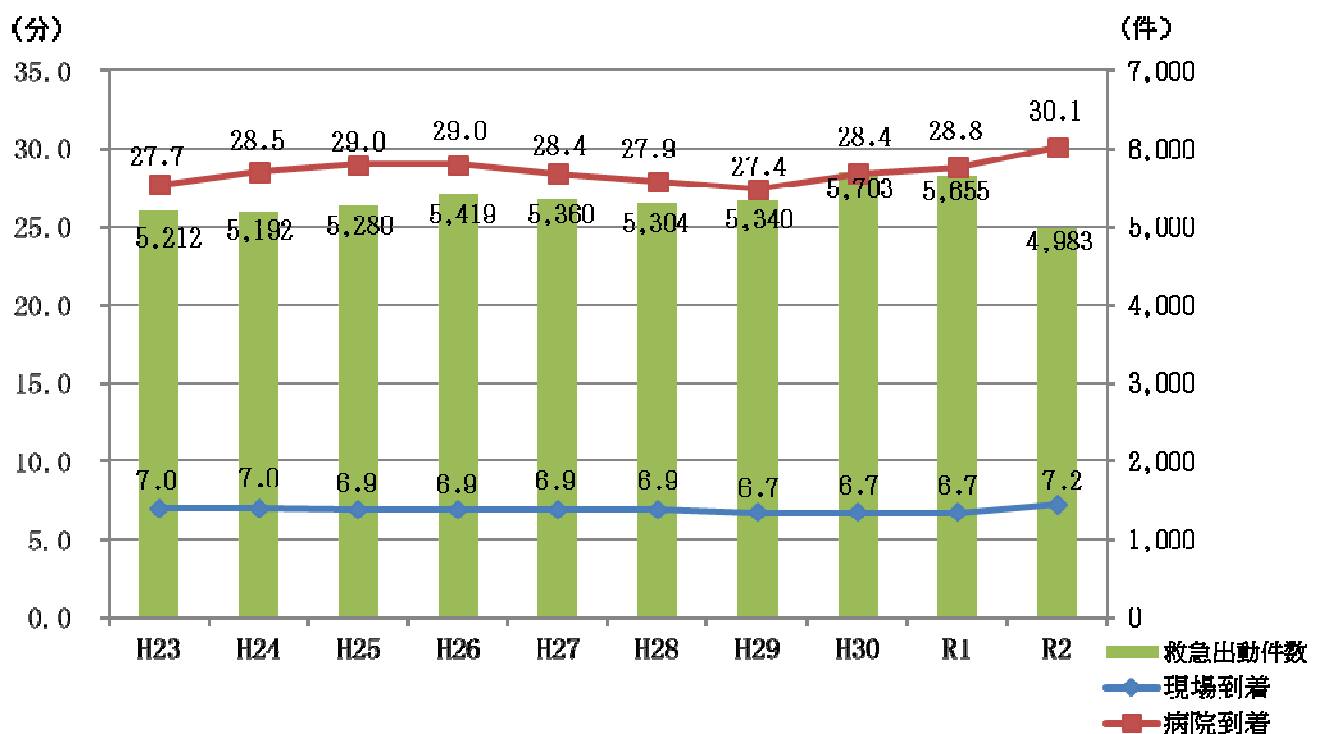
過去10年間の救急の出動状況をみますと、次表のとおりです。

区分 年別	計	増減率 (%)	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	他の消防本部から
平成23年	5,212	4.6	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	276	95	17
平成24年	5,192	-0.4	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	285	132	5
平成25年	5,280	1.7	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	271	141	20
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	263	147	44
平成27年	5,360	-1.1	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	288	83	27
平成28年	5,304	-1.0	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	267	43	23
平成29年	5,340	0.7	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	276	40	10
平成30年	5,703	6.8	5	0	0	368	69	52	820	12	34	3,958	304	81	2
令和元年	5,655	-0.8	10	0	0	380	45	38	810	16	56	3,882	325	93	11
令和2年	4,983	-11.9	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	237	66	13

8 過去10年間の救急出動件数及び

現場・病院到着平均所要時間の推移

過去10年間の救急出動件数及び現場・病院到着状況をみますと、次表のとおりです。



救助

救助出動件数は73件で、昨年と比べ9件減少しました。
このうち、救助活動を実施した件数は34件、救助人員は32人でした。

事故種別で見ますと、「建物等による事故」が47件（64.4%）、「交通事故」が10件（13.7%）、「その他の事故」が12件（16.4%）という状況でした。

救助出動の傾向としては、安否確認などの「建物等による事故」は引き続き多く発生していますが、「交通事故」の出動が昨年と比べ半減しました。

1 救助発生状況

全救助件数を月別にみますと、次表のとおりです。

区分 月別	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 ガ ス 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
1月	7 (4)	0	0	0	0	0	1 (0)	5 (3)	0	0	1 (1)
2月	4 (4)	0	0	0	0	0	0	4 (4)	0	0	0
3月	4 (1)	0	0	0	0	0	0	4 (1)	0	0	0
4月	4 (2)	0	1	1	0	0	0	2 (2)	0	0	0
5月	10 (5)	0	1	0	0	0	0	9 (5)	0	0	0
6月	6 (3)	0	2 (2)	0	0	0	1 (1)	1	0	0	2
7月	5 (2)	0	0	0	0	0	0	5 (2)	0	0	0
8月	6 (3)	0	1 (1)	0	0	0	0	4 (1)	0	0	1 (1)
9月	9 (4)	0	2 (1)	0	0	0	0	5 (2)	0	0	2 (1)
10月	7 (3)	0	1	1	0	0	0	2 (1)	0	0	3 (2)
11月	6 (3)	0	2 (1)	0	0	0	0	3 (1)	0	0	1 (1)
12月	5 (0)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2
合計	73 (34)	0 (0)	10 (5)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	47 (22)	0 (0)	0 (0)	12 (6)
救助人員	32	0	5	0	0	0	1	20	0	0	6
令和元年	82 (47)	0 (0)	20 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	47 (30)	0 (0)	0 (0)	13 (8)
救助人員	35	0	10	0	0	0	1	18	0	0	6

【備考】（ ）内は、救助活動件数を示す。

2 連区別救助出動件数

全救助件数を連区別にみますと、次表のとおりです。

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	73	2	3	2	4	1	5	5	5	7	6	3	4	2	2	1	5	7	2	3	3	1

3 救助出動・活動件数の推移

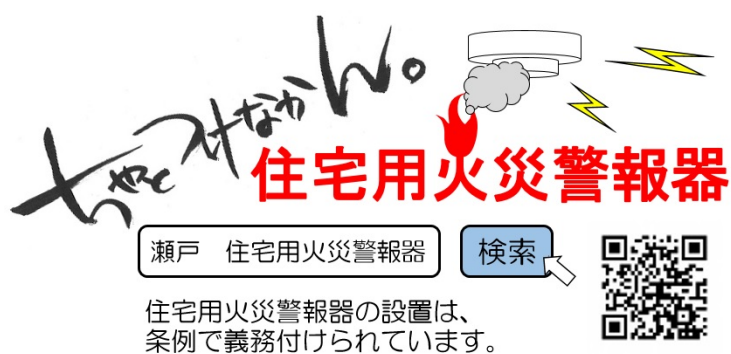
過去10年間の救助出動・活動件数の状況をみますと、次表のとおりです。

年別	区分	計	火災	交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	よ建る物等に	酸ガス事故及び	破裂事故	その他の
平成23年		62 (32)	1 (1)	22 (9)	2 (2)	0	8 (3)	16 (10)	0	0	13 (7)
平成24年		71 (41)	2 (2)	22 (10)	1 (0)	0	4 (2)	23 (14)	0	0	19 (13)
平成25年		67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0	11 (2)
平成26年		71 (29)	0	30 (8)	0	0	1 (1)	23 (10)	0	0	17 (10)
平成27年		72 (39)	1 (1)	20 (8)	0	0	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0	11 (6)
平成28年		54 (27)	1 (1)	17 (4)	0	0	1 (1)	25 (16)	0	0	10 (5)
平成29年		64 (26)	0	15 (4)	1 (1)	0	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0	15 (7)
平成30年		80 (35)	1 (1)	12 (4)	1 (1)	0	2 (1)	51 (21)	1 (1)	0	12 (6)
令和元年		82 (47)	0	20 (8)	0	0	2 (1)	47 (30)	0	0	13 (8)
令和2年		73 (34)	0	10 (5)	2 (0)	0	2 (1)	47 (22)	0	0	12 (6)
平均		70 (34)	1 (1)	20 (7)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	32 (17)	1 (0)	0 (0)	13 (7)

【備考】()内は、救助活動件数を示す。

〔2020年度全国統一防火標語〕

その火事を
防ぐあなたに
金メダル



瀬戸市消防本部

令和2年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 消防課
発行 令和3年2月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101
TEL 0561-85-0479
FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ yobou@city.seto.lg.jp